

菅谷館跡とは

国指定史跡 比企城館跡群 菅谷館跡は、平安時代末期から鎌倉時代の初頭に活躍した武蔵武士^{はたけやましげただ}の畠山重忠が居住した館と伝えられています。しかし、現存する土塁や堀などの遺構の形状や、ごく限られた範囲で実施された発掘調査の結果、見つかった遺構や遺物は、主に戦国時代以降のものであり、重忠の時代のものは確認されていません。

現在の菅谷館跡〔須賀谷^{すがや}(菅谷)城跡〕は、約13万㎡(東京ドーム約3個分)に及ぶ広大な面積を持つ、戦国時代の複郭式の平城です。

自然も豊富

菅谷館跡は、平野部と山地の間に位置し、都幾^{とき}川^{がわ}も近いことから様々な鳥や昆虫、植物を見ることができます。駐車場や散策路も整備されており、自然観察にもおすすめです。



キンラン（春）



ヤマユリ（夏）



紅葉（秋）



サザンカ（冬）

菅谷館跡 周辺マップ



「コバトン」「さいたまっち」

お問い合わせ

埼玉県立嵐山史跡の博物館

〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷757
TEL 0493-62-5896 FAX 0493-61-1060
Email s625896@pref.saitama.lg.jp
WEB <https://ranzan-shiseki.spec.ed.jp/>

ボランティアによるガイドツアーも行っています。
詳しくは、嵐山史跡の博物館WEBをご覧ください。



国指定史跡

ひ き じょう かん あと ぐん
比企城館跡群

すが や やかた あと
菅谷館跡

見て歩きガイドマップ

約30～40分で全体を
見て回ることができます。



埼玉県立
嵐山史跡の博物館

Saitama Prefectural Ranzan Historical Museum